

シーズン開幕に向けて

今年のユニはかっこいいぞ!



今年もリーグ戦が始まります。去年のこの時期は「何が有っても支えていくぞ!」なんて強がっていましたが、「暫くは臥薪嘗胆の日々が続くのかな?」とこっそり思っていました。(選手の皆さん本当にすみませんでした.....汗汗)でも今年は違います!シーズンが始まるのが滅茶苦茶楽しみです!!今年も岐阜の若人達がどんな活躍を見せてくれるのか。精一杯応援していきますよ!!頑張り!FC岐阜!!

Jリーグに昇格後初めてシーズン当初からユニフォームにスポンサーがつかしました(嬉)。発表が有った時は思わず目から汗を流してしまいました(苦笑)これは昨シーズンの選手やフロントの人達の頑張りの結果です。本当に有難うございます(ペコリ)。でも本当はここがスタート地点。決して驕ることなく気を引き締めて共に前進して行きましょう! Forza! FC岐阜!!

(シユナ)
2/27に行われた今西社長と風間八宏氏のスポーツ対談会。サッカーという分野だけに限らず、成功者の理論をたくさん聞かせていただきました。W杯の日本代表に関する話まで出たのはご愛嬌、バツサリとまあ.....(笑)。紙面の関係上、その中でのとある発言を掲載します。(あくまでニュアンスとしてお受け取り下さい)「競技としてのサッカーですので勝ち負けの2通りしかありません。勝つときもあれば当然負けるときもあります。岐阜の選手達にはまず第一に試合を見に来てくれた人たちにきちんと挨拶を試合のこと。負けたときシユンとせず今度は勝つという気持ちを見せることを徹底させています。やる気が伝わってくるサッカーを見ることが我々の使命です。」
今シーズンは選手、ファン、サポーターそれぞれもレベルアップできる年になりそうです。(ちな)

某巨大掲示板では噂になっていた今期の岐阜のユニフォームのカラー。昨年から売っていたチームグッズ、手袋やニットキャップ、ネックウォーマーは緑にグレーと黄色をつかっていたから、緑と黄の組み合わせは想定内でした。まあ、悪くないんじゃないですか。もう少し黄色が増えていたら、昔のJEFみたくなりそうでしたが(今のJEF千葉は黄と青の組み合わせですが、昔のJEF市原のころは黄と緑の組み合わせ)。でも、この黄色は何の黄色なのかがちょっと気になりますね。

「シーズン開幕のワクワク感」を、今年は、J2に加盟して初めて『ホーム』長良川で迎えることが出来る。1年目は「J2でどうなんだろう」という不安とともに迎えた開幕。2年目は「選手がいっぱい替わったけれど、どうなんだろう」という不安とともに迎えた開幕。そして今年は「監督が変わったけれど、守備のやり方が変わったらしいけれど、どうなんだろう」という開幕。不安はない、と言ったら嘘になる。ぼくが今年のFC岐阜を視たのは練習開始日だけで、先日のPSM名古屋戦も録画放送で少し視た程度。だから、新加入選手のこともよくわからない。でも、ただひとり、村尾君だけはわかる。今年1月の、まだ彼が岐阜に来る前に行われた九州の大会で、彼がゴールを守る試合を偶然観ることができたのだ。印象は、「とにかくコーチングの声がよく通る」。これなら、長良川の大観衆を前にしても安心だ。セービングは...あまりピンチがなかったからね(笑)。

あと、緑と黄の組み合わせを使っているプロスポーツチームで浮かんだのが、NFLの「グリーンベイ・パッカーズ」。正確には緑と金の組み合わせなのですが、ユニフォーム等では金の代わりに黄を使っています。この「グリーンベイ・パッカーズ」。十万人ちよいのグリーンベイという町にあります。岐阜県でいえば、大垣市や各務原市より少し小さい町といったところでしょうか。にもかかわらず、ホームスタジアムの収容人数は72,928人。チケットは毎シーズン完売、シーズンチケットのキャンセル待ちが6万人以上!もいて、手に入れるまでに約35年かかるとのこと。ちなみに、ファンがシーズンチケットの相続人を遺言で指定するのが珍しくなく、おじいさんが孫に相続させたりすることもあるらしいです。この事からもわかるように、「グリーンベイ・パッカーズ」はとても熱心なファンを抱えている地方のチーム(しかも、100%市民株主!)。我々がFC岐阜もいずれは「パッカーズ」のように地元で愛されるチームにしたい...ふと、そんなことを思った新ユニでした。(緑の小太鼓)

さて今年は36試合。水曜開催が少ないのは助かるし、ワールドカップ南アフリカ大会での中断もあるのでチーム戦術の見直しも出来る。これは、もちろんFC岐阜だけでなく、どのクラブにも言えること。友人が言っていたけど、「今年はキチンと実力が結果に現れるシーズンになるだろう」。なるほど、上出来だ。ならば、そのキチンと結果が出るシーズンで、キチンと結果を出そうじゃないか。そして、ぼくらサポーターも、その結果を残すシーズンの手助けになろうじゃないか。ユニだってカッコよくなったし(たとえ「ヴァリエンテ富山だ」と言われても気にしないもんっ)嬉しいことに開幕から胸にスポンサーがついたし。さあ、新しいシーズンが始まる。(吉田鎔造)

FC岐阜セカンド、今年は東海リーグ2部での戦いです

2月1日より伊藤監督のもと、チームは始動しております。しかしながら昨年の主力は移籍か退団そして故障といった状況。どうなるか見当もつきません。そんな中、今年はいよいよ東海リーグ2部での戦い。ホーム&アウェー戦が待っています。詳細が分かり次第、岐大通で記事にしていく予定です。(ちな)
【編集部注】2010東海リーグ2部参加チーム
トヨタ蹴球団(愛知・東海1部より降格)
コニカミノルタ豊川(愛知・東海1部より降格)
伊勢PERSONA(三重)
マインドハウス四日市(三重)
Chukyo Univ.FC(愛知)
春日井クラブ(愛知)
FC岐阜セカンド(岐阜・県リーグより昇格)
KVB伊賀FC(三重・県リーグより昇格)

today's guest
カターレ富山
2009 J2第13位
J2通算対戦成績 : 1勝 1分 1敗
2009成績
第1節 09/04/29 富山 3-0 岐阜
第2節 09/07/05 岐阜 0-0 富山
第3節 09/09/12 富山 0-2 岐阜

2009J2
09シーズンの対戦成績

柏	(J1より降格)
大分	(J1より降格)
千葉	(J1より降格)
甲府	0勝 0分 2敗 得点3 失点5
鳥栖	0勝 0分 2敗 得点1 失点3
札幌	0勝 0分 3敗 得点2 失点9
東京V	0勝 0分 0敗 得点1 失点4
水戸	1勝 2分 0敗 得点7 失点5
徳島	2勝 0分 0敗 得点6 失点4
草津	2勝 0分 0敗 得点2 失点1
福岡	1勝 0分 2敗 得点1 失点3
岐阜	
富山	1勝 0分 0敗 得点2 失点3
熊本	2勝 0分 0敗 得点8 失点7
愛媛	1勝 0分 0敗 得点5 失点7
横浜FC	2勝 0分 0敗 得点6 失点3
栃木	1勝 0分 0敗 得点3 失点3
岡山	2勝 0分 0敗 得点6 失点0

北九州 (JFLより昇格加盟)

次回 HomeGame
第3節
ヴァンフォーレ甲府戦
3/20(水) 16:00
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

投稿募集!
gidaidohr@hotmail.co.jp

FC岐阜大好き通信(岐大通)
3/7号
編集発行:『岐大通』製作委員会
今号の製作担当: ささたく & 吉田鎔造

編集子より
ご愛顧いただきありがとうございます。
今シーズンは2年ぶりに「全ホームゲーム」での発行を目標にしますので、よろしく願い致します。

「いらっしゃいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休: 日曜日(今日はお休みです)

Living in Woods
本庄工業株式会社
http://www.honj-woodream.com/

予報はハズレか！？と思うような雨も上がり、観戦にはもってこいの日和になってよかった。毎年、寒さに震えながら見ていたような気がするけど、今日は終了まで気にならなかった。

試合は1-1のドロー。前半は完全に支配され43分がスゴく長くて…(苦笑)。後半も、チャンスはグランパスの方が多かったし。

(そういう印象が強かったけど、録画を見たら後半はそこまででもなかった。キーパーとの1対1もあったし)敵ながら夢生はホントいいね。野垣内でなくてもキツかったと思うよ。グラサポは代表も合わせて楽しめそう。

それにしても、あんなにピタリとサイドチェンジ決められたら、苦戦は必至。そういえば、去年の天皇杯も左右に振られて自慢の走力を削られたんだっけ。

恭平の神セーブは今季も健在！交代出場の村尾クンも、ファースト・タッチがスーパー・セーブ！二人合わせて3-4点は防いでくれた。「キーパー代わっても決められねー！」と、周りのグラサポもビックリしてたよ。その甲斐あって、優大の同点ゴールが、タイムアップ寸前、劇的に、実に劇的に決まったワケで。ホント、二人ともよくやってくれました。

双方を比較すれば、個人能力とかに明らかな差があったと思うのだけれども、終了後のインタビューで「特に、差があるとは感じませんでした。」と優大が答えたらしい。それはそれでスゴいことだ。しっかり、手応えを感じたことだね。

なんといっても、去年とは違うスタメンと布陣。そして、指揮官とその戦術。まだまだ習熟度が不足していることは明らかな中、TMよりも高いレベルの相手とやっけての引き分け。去年の天敵ダニエルソンが入ってからは、彼を起点に3回くらいチャンスが生まれたのもおもしろかった(爆)。去年の対戦ではやられたからね。少しはお返しできたかな？

のんびり観戦のPSMのはずが、同点の瞬間には両手を突き上げて快哉を叫ぶ自分がいました。やはり、岐阜のゴールには血が沸きます。オマケに、グランパスから奪った初ゴール。いやいや、今日はこれで満足ですよ。今の段階で、これ以上を求めする必要もない。これからこれから。クラブも選手も。そしてそれは、ボク自身にも言えること。少しでも支えになれるよう精進します。(ぐん、)

2010年J2開幕を1週間前に控え、恒例となった名古屋とのPSM。PSMも3回目、天皇杯でも2年連続での対戦、未だに1点も奪えないのは悔しいが、今期のJクラブ最大の超大型補強で日本代表3名を揃えた名古屋相手に、今年のチームが現段階でどこまでやれるのか、いいテストの機会だ。

さて、スタメン発表。倉田新監督による新しいチームは、昨年とメンバーやポジションに変更が見られるものの、24日のTM山形戦と同じであり、現在のベストメンバーかな？一方の名古屋は、ケネディが豪代表に参加、3日後には日本代表も試合があり、PSMだしスタメンは…と思ったのだけれど、やはりピクシー、今年もガチで勝負に来てくれました(苦笑)。

しかし…監督や戦術が替わっても、試合開始直後に大ピンチを迎えてしまうところは、ウチのチームは昨年と変わっていないのかも…(汗)。まだ選手達が、マンツーマンからゾーンへの守備変更慣れていないのか、守備範囲の判断に迷い、ついチェックが遅くなってしまっている印象。攻撃も、切り替えの遅さと連携ミスで、なかなかボールが繋がらず、もどかしい思い。そんな中、ゾーンディフェンスの際をR玉田に突破され、先制点を奪われてしまう。しかし、守備陣の粘り強さとG野田のビッグセーブにより、1失点で前半を折り返す事ができた。

後半になると、選手達が慣れてきたのか修正が功を奏したのか、徐々に岐阜にもチャンスが生まれ、決定機も。しかし、流石は日本代表の守護神・植崎、失点を許さない。一方で名古屋にも決定機が訪れるが、機能しだした守備陣の活躍や、こちらもG野田&初出場のG村尾のビッグセーブで追加点を阻む。更に、選手交代で昨年のメンバーがピッチに登場してくると、(当然だけれど)チームの連携が向上し、岐阜の運動量も増えてくる。一進一退の攻防に、岐阜ゴール裏のテンションも上昇。僕も最初は軽く応援する気持ちだったのが、やはりヒートアップ(苦笑)。

そして…ロスタイム。今年はMFを務めている西川が、嶋田からのパスを受けて仕掛け、狙い澄ましてシュート！これがゴールネットを揺らし、ついに同点、そして名古屋から初得点！PSMとはいえ、劇的な展開に、ついナダレてしまう岐阜ゴール裏(笑)。そして、試合終了の笛。結果は同点だけれど、あまりに対照的な選手達の表情が、すべてを物語っていたと思う。正直、このPSMを通して、課題が数多く残っているのが見つかったと思う。しかし、今年のJ1優勝候補の名古屋相手に同点という結果を残せた事は大きいし、選手達も前向きに開幕戦を迎えることができるだろう。それに、良くなかった前半ですら、去年のPSMと比べると…(苦笑)。それを考えると、今年のチームは(油断するつもりは毛頭ないが)昨年よりも期待できるのではないかな？そんな事を感じさせるテストマッチだった。(ささたく)

PSM前日の土曜午後。有志でピラ配り&ポスター掲示依頼を実施しました。

集合場所の金公園に集まった有志は20人余。北西部で行われた、筑波大との練習試合が重なった中で、よくぞこれだけ……、という気持ち。

JR、名鉄の両岐阜駅でのピラ配りに6-7名、残りは2人一組でポスターの掲示をお願いする係。ポスターは刷り上ったばかりの、前半スケジュール入り。いつもなら、ポスターは駅付近の店舗にお願いしてきたけど、今回は長良川競技場のお膝元にも貼ってもらおうという意見が出て、一組が早田から忠節付近を周ってきました。飲食店が中心でしたが、薬局、フラワーショップ、サイクルショップ、スポーツ用品店、釣具屋、洋品店、書店、コンビニからホテルまで。2時間で50軒ほどお願いに行きましたが、そのうち40軒が快諾、もしくは前向きに考えていただくことを前提にポスターを受け取っていただけました。受け取っていただけなかったお店も理由が「スペースがない」ことだったり、もともと店名以外何も表示がなく、このポスターでなくても「貼ったらイメージ変わっちゃう」雰囲気があって、ダメもとで行ったところがほとんど。話を聞いて、ポスターを見て「ウチはちょっと……」と断られたのは一軒だけでした。

中には、「待ってたよ。今もポスター貼ってあるけど、ご覧のとおり一昨年ので(苦笑)」とか「前はポスターも貼ってたよ。選手もよく食べに来てくれてたんだ。ほら、色紙が何枚もあるでしょ。」という反応が多くて、ウレシイやら申し訳ないやら……。

ビックリしたのは、回ったうちの3軒ほどで「そういえば、アンケートで一番になってたね。」と笑顔で話しかけてくださったこと。ご存知の方も多いと思うが、昨季Jリーグが全クラブのホームゲームでアンケートを実施した。その中にある「地元愛着度(ロイヤリティ)」というランキングでFC岐阜が一位を獲得したというニュースが報道されたのだが、まさかこういう場面で話題になるとは！意外すぎて、内心小躍りしたくなるような思いで一杯になった。

また、別のところでは「おたくの事務局どうなるの？なくなっちゃうんでしょ？未来会館。」という心配まで。ええ、それはボクらが聞きたいくらいで……、と返しておいたが、ホントどうなるんでしょうか？フロントのみなさん。身近なお膝元で、こんなに気にしてくださってる方々がいらっしゃるんですから、やり方次第でメモリアル付近がフラッグやダンマクで溢れる状況も夢ではないですよ。

それから、途中で、とあるサポート・ショップを訪ねてみた。金華橋通りが分かれる所にあるその店には、すぐにそれとわかるフラッグが掲げてある。突然の訪問で、いきなりのポスター掲示依頼に戸惑う様子もなく、それでも「ポスターを貼るのはいいんだけど、ほら、ウチはサポート・ショップでしょ？今度、営業のY田さんがみえることになっているの。やわっちゃうわないかしら？」と、心配顔。

「あ～、営業のY田さんがみえるんですか。それじゃ、そちらのポスター貼ってもらった方がいいですね。」ということで、成果をY田さんに譲ることにした(笑)そのお店は飲食系ではなく、人がしょっちゅう集まりそうな商品もない。それでも、何人ががくつろげるスペースがあり、その上さりげなく募金箱(もちろん「夢募金」)と某製菓会社の飴、それも袋を並べて販売してるのではなく、大きい袋から出した飴を籠に入れて誰でも手に取れるように置いてあった。話を聞いてくれた奥様(店長さん?)曰く「サロンじゃないけど、誰もが気軽に集まれる場所になるといいねえ」と……。どうです？こういうさりげないサポートをしてくださるところもあるんです。いや、実にほのぼのと幸せな心持になれましたよ。

今回の行動はほんの2時間ほどだったけれど、少しずつでもこのクラブが地元クラブとして認められ、愛され始めていくんだな。そんな萌芽をしっかりと感じる事ができました。この夏には、後半戦のスケジュールが載ったポスターができると聞きました。それを抱えて、もっとたくさんのお店とかを回りたい。快く受け取ってもらうためにも、昨季並みの、あるいはそれ以上の快心劇(快進撃)を見てほしいなあ～。どうか、よろしくお祈りします>選手のみなさん。

(ぐん、)

ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)